



HPVワクチンキャッチアップ接種 推進に向けたキャンペーンの紹介

SAVE ♥ WOMB

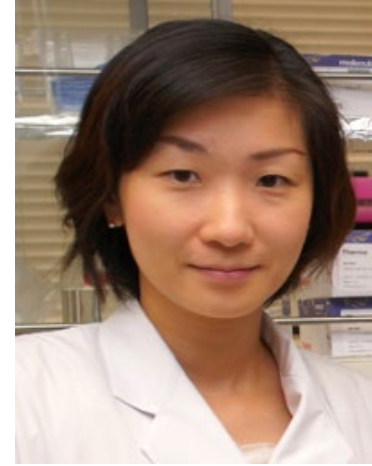
10/1以降は（最大）10万円、
マジで自腹になっちゃうよ！

★：2000年から2005年度生まれのワクチン未接種の女の子は、接種で防げるはずの子宮頸がんで死亡するリスクが高いという研究報告があります。（Yagi A et al. Sci Rep. 2020）

公益社団法人愛知県医師会

子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）キャンペーンにかかる キャンペーンドクター

名古屋大学医学部産婦人科
講師 新美 薫（にいみ かおる）



【学歴】

名古屋大学医学部卒業
2013年 3 月 名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了

【職歴】

名古屋第二赤十字病院初期研修医
名古屋第二赤十字病院専攻医
2009年 1 月 名古屋大学産婦人科医員
2013年10月 名古屋大学産婦人科助教
2019年 9 月 名古屋大学産婦人科講師（現職）

【所属学会・資格など】

日本産科婦人科学会（専門医・指導医）
日本婦人科腫瘍学会（専門医・指導医）
日本人類遺伝学会（臨床遺伝専門医）
日本臨床細胞学会（細胞診専門医）
日本婦人科内視鏡学会（技術認定医）
日本ロボット外科学会（婦人科専門医）
日本がん治療認定医機構（認定医）
日本遺伝性腫瘍学会（専門医）
日本胎盤学会（評議員）
日本癌学会

子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）キャンペーン スケジュール

担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月
愛知県医師会	HPVワクチン接種の推進に関する検討会（原則、毎月1回開催） ※4/19、6/7、7/5、8/9、9/5、10/4					
		23日 報道関係者との懇談会	中部電力MIRAI TOWER（旧・名古屋テレビ塔）「煌」にビジョン広告			
		30日 県下医師会長等協議会（臨時）	8日 愛知県医師会代議員会	地下鉄 全線 窓ステッカー、名鉄 全線 ドアステッカーの啓発広告	19日 県下医師会長等協議会（10月以降の対応 等）	
		31日 県下各医師会へ協力依頼	14日 県下各病院へ協力依頼	JR東海道線 金山駅 ホーム ドアシートへポスター掲出	21日 学校関係者向け子宮頸がん 予防とHPVワクチンに関する研修 会	
			21日 学校関係者向け子宮頸がん 予防とHPVワクチンに関する研修 会	Instagram（インスタ）・Youtubeの広告		
			30日 報道関係者との懇談会	2日 感染症対策課へ県立学校へ リーフレットの周知依頼送付	25日 第26回にっぽんど真ん中祭 り	
				5日 県下各市区町村へステッ カー・リーフレット等送付		
				8日 愛知県私立保育園連盟・名 古屋民間保育園連盟へリーフレッ ト送付		
				18日 県下医師会長等協議（広域 予防接種事業の件）		
				23日 日医理事打合せ（全国PRの 要請、期間延長の要望）		
愛知県		28日 保健所・市町村の予防接種 担当課へ再周知依頼	12日 名古屋テレビ「名古屋テレ ビ「ドデスカ！」	3日 県立学校等へリーフレット 揭示依頼	4日 広報あいち掲載	県公式 LINE、X（旧 Twitter）による情報発信
			16日 ZIP-FM「TAICHI SUNDAY TIPS」			
			30日 愛知県HPVワクチン普及啓 発シンポジウム			
名古屋 医師会		1日 医療機関へ接種勧奨ポス ター・チラシ送付		10日 名古屋市河村市長訪問（接 種期間延長の要望）	7日 医療機関へキャッチアップ接 種に関する動画の案内を送付	9日 医療機関へ標準的なスケ ジュールで接種できない場合を送付
産婦人科医 会 小児科医 会		2日 HPVワクチン接種推進に向け た座談会（産婦人科）	HPVワクチンメッセージTシャツ制 作（小児科）	28日 Tシャツ・ピンバッジを会 員へ配布（小児科）	3日 豊川市三師会会議でHPVワク チン接種の現状報告（小児科）	7日 一宮市小児科医会による街 頭PR活動（小児科）
			2日 HPVワクチン接種推進に向け た座談会（産婦人科）	28日 東三河小児科医会では保健 所職員へもTシャツ配布（小児 科）	6.17.18.31日 勉強会の開催、チ ラシ配り等、集中的な活動（小児 科）	
			15日 だいでクリニックにて啓 発活動（小児科）		24日 子宮頸がん予防ワクチン （HPVワクチン）接種キャン ペーン講演会（内科）	
			27日 街頭PR活動（小児科）		24日 第26回にっぽんど真ん中祭 り（小児科）	
大学			6日 名古屋大学医学部附属病院 開催セミナー	愛知医大 三角ポップ制作	12日 愛知医大 モリコロパーク 啓発イベント	6日 藤田医大 特別講演会
				17日 名古屋大学医学部附属病院 開催セミナー SSH講演会	28.30日 名市大 キャッチアッ プ集団接種1回目	6.11日 名市大 キャッチアッ プ集団接種1回目

愛知県医師会ホームページに特設ページを開設



リーフレット、院内掲示用ステッカー、ポスター・チラシ、キャッチアップ接種啓発動画
愛知県産婦人科医会主催 HPVワクチン接種推進に向けた座談会動画（啓発資材を随時更新）

えいちぴーふい

愛知県HPVワクチン
普及啓発シンポジウム

参加
無料

～知ってほしい。子宮頸がんで苦しまないためにできること。～
2024.6.30(日)15:00～16:30

先着800名(参加無料) 申込期限：6月24日(月)
年齢、性別問わず、どなたでも御参加いただけます。
(手話通訳あり) ☆お申込みはこちらから



第一部 基調講演

「HPVってなに」
高知大学医学部
臨床感染症学講座 教授
山岸 由佳(やまぎし ゆか)



第二部

～メッセージ動画～
古村 比呂(こむら ひろ)
(俳優、一般社団法人HIRAKU
がんリンパ浮腫と共存 代表理事)
46歳で子宮頸がんを診断、子宮を全摘出。
術後は後遺症のリンパ浮腫を発症。5年後、再発と再々発を克服し
たものの、2023年1月、再々再発となる。自らの治療のかたわら、
がんサバイバーへの情報発信や電話相談など活動を行っている。



～パネルディスカッション～

山岸 由佳(基調講演講師)
SKE48 松本 慈子 大村 杏
(I LOVE あいちサポーターズ あいち広報大使)
平野 良子
(NPO法人 ミーネット ピアサポーター)
47歳で子宮頸がんを発症し、手術と放射線治療を経験。治療後、
乳房の慢性炎症性腫瘍を発症。腫瘍がんの複発症と向き合いながら
第二のライフワークとしてピアサポート活動に取り組んでいる。
牛田 孝宏
(愛知医科大学医学部 疼痛医学講座 教授)
司会：堤 里砂(アナウンサー)



SKE48 松本 慈子
(まつもと ともこ)



SKE48 大村 杏
(おおむら あんず)



平野 良子
(ひらの りょうこ)



牛田 孝宏
(うしだ たかひろ)



堤 里砂
(つづみ りさ)

〇開催場所：ウィルあいち 4階 ウィルホール(名古屋市東区上野杉町1番地)
〇主催：愛知県、公益社団法人愛知県医師会 ・協力：愛知医科大学病院
・後援：愛知県内科医会 愛知県産婦人科医会 愛知県小児科医会

HPVワクチンとは

ヒトパピローマウイルス (HPV) は、性経験のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。子宮頸がんをはじめ、肛門がん、陰がん等、多くの病気に関わっており、特に、近年若い女性の子宮頸がん罹患が増えています。HPVワクチンは、HPVの感染を防ぐ有効な手立てとして子宮頸がんの予防方法の一つとされています。

お問合せ

愛知県保健医療局感染症対策課ワクチングループ
TEL：052-964-7491

ホームページはこちらから



HPVワクチン みんなで知ろう



HPVワクチン接種の経験などを話すSKE48の
松本さん(左)・名古屋市長区役所のウィルあいちで

名古屋で催し SKE48メンバーら呼びかけ
子宮頸がん予防につながる
ヒトパピローマウイルス
(HPV)ワクチン接種を
呼びかけるシンポジウムが
30日、名古屋市長区役所のウィ
ルあいちで開かれた。医師
やアイドルグループSKE
48メンバーらが講演やパネ
ルディスカッションで有効
性を訴えた。
高知大医学部の山岸由佳
教授が講演し、子宮頸がん
の発症の仕組みや治療方法
を解説。ワクチン接種後に
報告される接種部位の痛み
や腫れなどは、筋肉内注射
であることや注射針などの
刺激が原因と考えられると
し「接種のメリットと比べ
て副反応の可能性は低い」
と強調した。
パネルディスカッション
にはSKE48の松本慈子さ
ん(24)と大村杏さん(18)ら
が登場。接種を済ませたと
いう松本さんは「周りで接
種を受けたという同世代も
増えてきている。性別や年
齢関係なく、みんなで知識
を深めていくことが大事」
と話した。
国が接種の積極的な呼び

中日朝刊 R6.7.1 9面

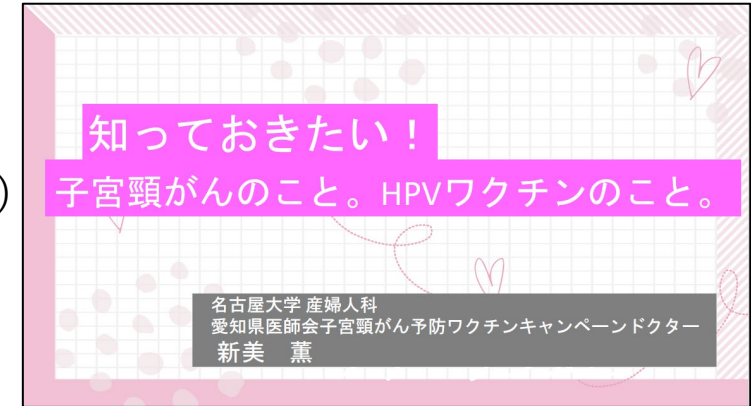
かけを中止した時期に接種
を逃した1997～2000
7年度生まれの女性が対象
の公費接種は来年3月に終
了し、今年9月までに接種

を始める必要があるため、
啓発を兼ねて県と県医師会
が共催。約300人が聴講
した。

(芝野享平)

学校関係者向け 子宮頸がん予防とHPVワクチンに関する研修会

日 時：令和6年6月21日（金）15：00～16：30
令和6年8月21日（水）14：00～15：30
場 所：中日ホール&カンファレンス Room 1（中日ビル6階）
（名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル）
対 象：学校保健関係者



「知っておきたい子宮頸がんのこと。HPVワクチンのこと。」

愛知県医師会子宮頸がん予防ワクチンキャンペーンドクター
名古屋大学医学部産婦人科講師

新 美 薫

令和6年6月21日（金）
令和6年8月21日（水）

出席者：91名
出席者：40名

中部電力MIRAI TOWER タワービジョン「煌」への広告出稿



ビジョン概要

- ☐ 場所：名古屋市中区錦3丁目6-15
- ☐ 放映時間：日没から
- ☐ **放映期間：令和6年6月～9月**
- ☐ 画面寸法：H54,400mm×w4,500mm



公益社団法人 愛知県医師会

初回接種は9月末までに

子宮頸がん予防ワクチンキャッチアップ接種は無料

大切な未来を守るためにワクチンを接種しよう！

子宮頸がんを予防できるワクチンがあることを

知っていますか？

大切なお知らせです

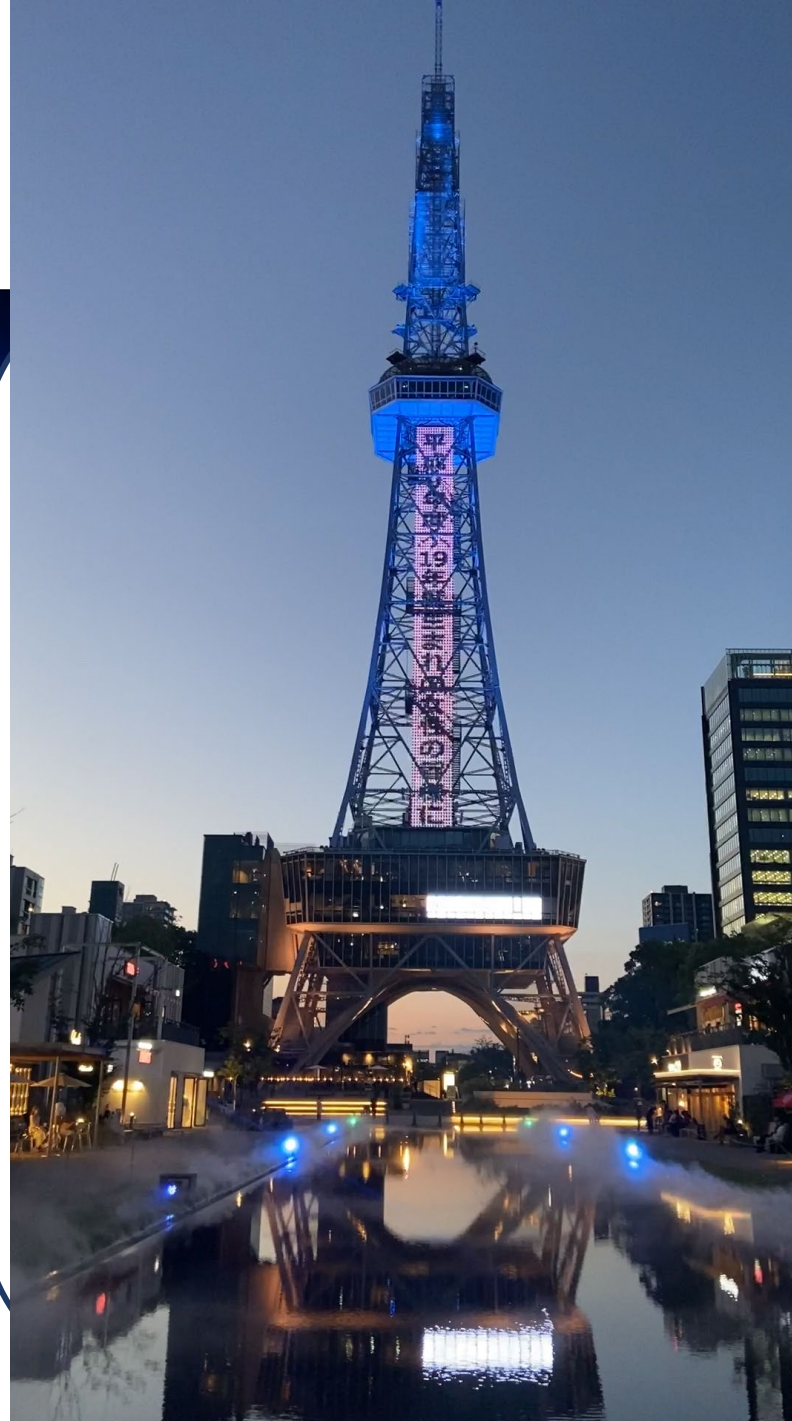
平成9年度～19年度生まれの女性の皆様に

中部電力MIRAI TOWER



ビジョン概要

- 場 所：名古屋市中区錦3丁目6-15
- 放映時間：日没から
- 放映期間：令和6年6月～9月**
- 画面寸法：H54,400mm×w4,500mm



への広告出稿

知っていますか？

大切なお知らせです

平成9年度～19年度生まれの女性の皆様に

地下鉄・名鉄車両への広告



1997-2007年度生まれの女性は今だけ無料！

子宮頸がん予防ワクチン[※]の無料接種期限がせまっています。

1回目の接種は遅くとも2024年9月末までに！

産婦人科だけでなく、小児科、内科などのクリニックや病院でも接種を受けることができます。

※子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)とは
HPVワクチンとは子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。HPVワクチンは予防効果が高く定期接種年代(小6～高1)の接種において約90%の予防効果、キャッチアップ接種年代の接種において約50%の予防効果が報告されています。

●日本医師会 YouTube
教えて！日医君！～HPVワクチン～

●厚生労働省 ホームページ
ヒトパピローマウイルス感染症(HPVワクチン)

日本医師会 HPVワクチン YouTube

厚生労働省 HPV

10/1以降は最大10万円、マジで自腹になっちゃうよ！

後援 公益社団法人 愛知県医師会
シンボルマークのデザインは愛知医科大学医歯学部化学療法の学生がデザインしました。

【ワクチン接種に関するご相談は、住民票のある市町村予防接種担当まで】

公益社団法人 愛知県医師会



1997-2007年度生まれの女性は今だけ無料！

子宮頸がん予防ワクチン[※]の無料接種期限がせまっています。

1回目の接種は遅くとも2024年9月末までに！

産婦人科だけでなく、小児科、内科などのクリニックや病院でも接種を受けることができます。

※子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)とは
HPVワクチンとは子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。HPVワクチンは予防効果が高く定期接種年代(小6～高1)の接種において約90%の予防効果、キャッチアップ接種年代の接種において約50%の予防効果が報告されています。

●日本医師会 YouTube
教えて！日医君！～HPVワクチン～

●厚生労働省 ホームページ
ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種を減らした方へ
～キャッチアップ接種のご案内～

10/1以降は最大10万円、マジで自腹になっちゃうよ！

後援 公益社団法人 愛知県医師会
シンボルマークのデザインは愛知医科大学医歯学部化学療法の学生がデザインしました。

【ワクチン接種に関するご相談は、住民票のある市町村予防接種担当まで】

携帯電話のご利用マナーにご協力ください。

公益社団法人 愛知県医師会



【地下鉄】 窓ステッカー全線

【名鉄】 扉ステッカー全線

掲載期間：令和6年7月～令和6年8月

JR東海道線 金山駅 ホームドアシートへの広告



**「子宮頸がん」から
あなたを守るHPVワクチン
無料接種期限がせまっています**
無料接種期間を過ぎると接種費用は全額自己負担(約10万円)になります
※9価HPVワクチンの場合

健康で
ありますように

ワクチンの
正しい情報を知りたい

ワクチンでがんを
予防できますように

無料接種で
安心を手に入れたい

公費で無料接種できます

接種機会を逃した方の無料接種
キャッチアップ接種
無料接種は2025年3月末まで

1回目は遅くとも2024年9月までに!
キャッチアップ接種対象者 1997年度～2007年度生まれの女性

「子宮頸がん」を予防するワクチン
HPVワクチン定期接種

定期無料接種は遅くとも高1の9月までに!
定期無料接種対象者 小学校6年生～高校1年生相当の女子

HPVワクチンとは
HPVワクチンとは子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。HPVワクチンは予防効果が高く定期接種年代(小6～高1)の接種において約90%の予防効果、キャッチアップ接種年代の接種においても約50%の予防効果が報告されています。

公益社団法人 愛知県医師会 愛知県小児科医会
(制作・提供 一般社団法人 一宮市医師会)

掲載期間：令和6年7月

- 愛知県感染症対策課へキャッチアップ接種の対象の方等へリーフレットの周知依頼を送付（令和6年7月2日）
- 県下各市区町村へステッカー・リーフレットを送付（令和6年7月5日）
- 公益社団法人愛知県私立幼稚園連盟、一般社団法人愛知県私立保育園連盟、公益社団法人名古屋民間保育園連盟の3団体へリーフレット・ポスターを送付（先方の了承があり次第、送付）

ステッカー→



←
→
リーフレット



三角ポップ制作

HPV予防接種拠点病院整備事業の東海ブロック拠点病院である愛知医科大学病院の協力により三角ポップを制作

16歳～27歳の女性の方
(1997年4月2日～2008年4月1日生まれ)
キャッチアップ接種対象者の

**公費接種の
期限が
迫ってます!**

期日:2025年3月31日まで

2025年3月31日までに
計画的な接種をおすすめします。

HPVワクチンは合計3回の接種が必要です。
標準的なスケジュールでは約6カ月間かかります。

●キャッチアップ接種対象者
(公費でHPVワクチン接種が可能の方)
16歳～27歳の方
1997年4月2日～2008年4月1日生まれ

無料で接種可能!

HPVワクチンを3回接種するには6ヶ月を
要するため、遅くとも**2024年9月までに**
1回目の接種をおすすめします。

2025年3月31日 キャッチアップ公費接種終了

実費負担 4～10万円が必要
2008年4月1日以降は、HPVワクチンを3回接種する場合
実費負担4～10万円が必要!!

定期接種
対象者 小学校6年生～高校1年生相当の女子
定期接種は、遅くとも高1の9月までに!

まっって
16歳から27歳の方が0円なのは
2025年の3月31日までのなの?
それ過ぎたらお金いるの?

そう! だから**2024年の9月**
までに1回目打たないと!

HPVワクチン接種の
基本情報を知りたい

動画で知りたい:
教えて! 日医君!
～ HPVワクチン～

動画で知りたい:
教えて! 日医君!
HPVワクチン2
～知っていますか?
若い世代に増えている
子宮頸がん～

HPVワクチン
に関するQ&A

詳しくは厚生労働省のホームページへ

厚生労働省 HPV 検索

厚生労働省
ヒトパピローマウイルス感染症の予防
接種に関する相談支援・医療体制強化
のための地域ブロック拠点病院整備事業

愛知医科大学病院
公益社団法人
愛知県医師会



Instagram・YouTubeへの広告

Instagram広告



Youtube広告（動画）

1997-2007年度生まれの女性は今だけ無料！

子宮頸がん予防ワクチン※の
無料接種期限がせまっています。

1回目の接種は遅くとも **2024年9月末** までに！

公益社団法人 愛知県医師会

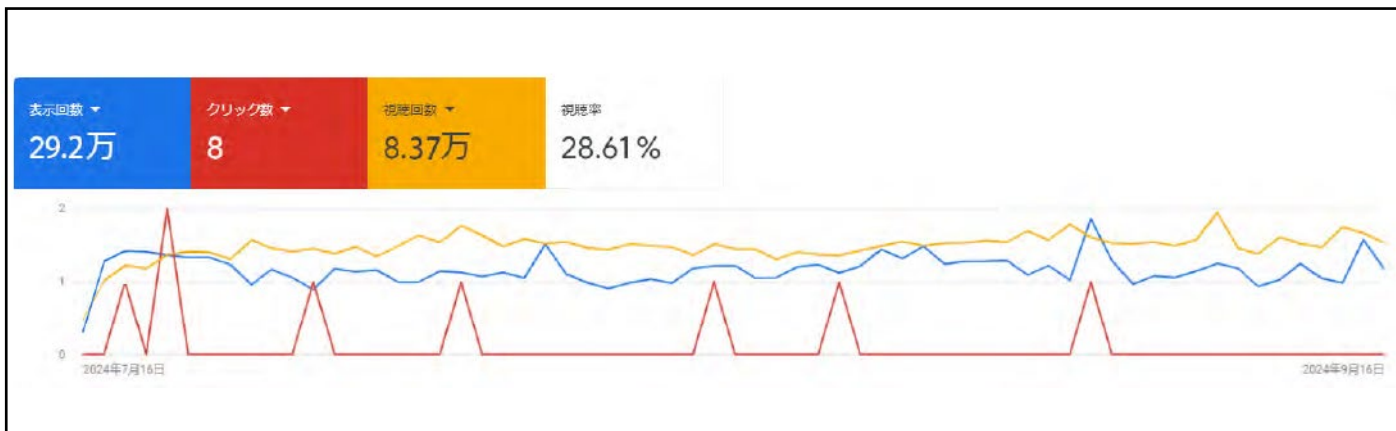
対 象：愛知県全域のキャッチアップ接種世代の女性を中心に配信
期 間：令和6年7月16日～令和6年9月16日

■HPVワクチン キッチアップ接種啓発SNS広告 結果報告

(2024年9月16日 (月) 23:59時点)

広告出稿期間：2024/7/16～2024/9/16 広告出稿媒体：①Youtube広告 ②Instagram広告

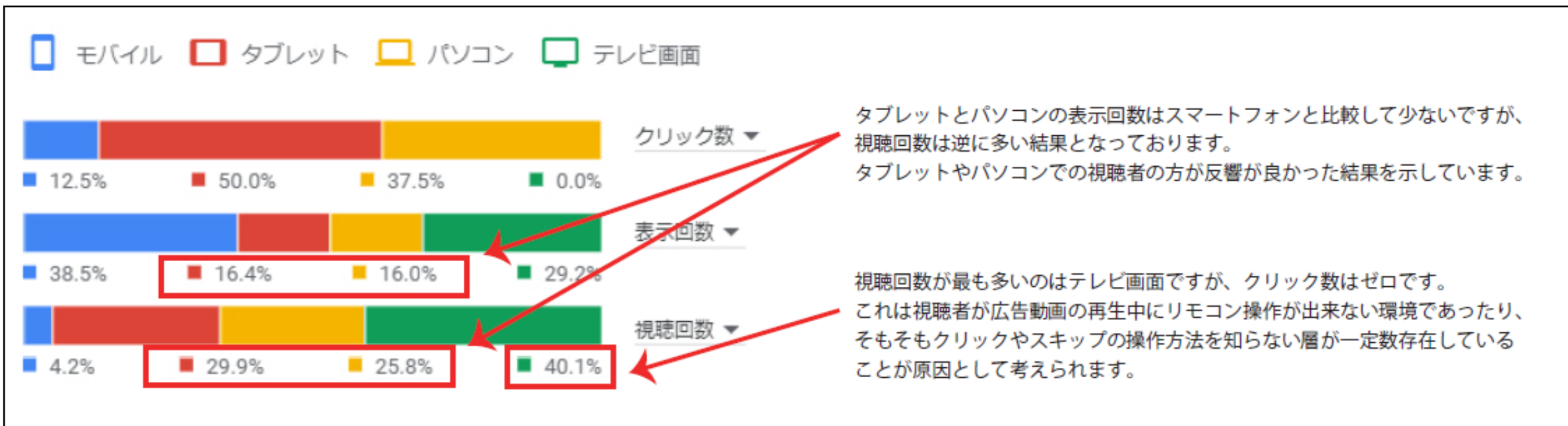
①Youtube広告



- ・表示回数：広告が表示された回数
(スキップされてもカウントされます)
- ・クリック数：リンク先へのURLをクリックした回数
- ・視聴回数：～30秒まで広告が表示（視聴）された回数
今回32秒の広告のため最後まで表示（視聴）されていると考えられる
- ・視聴率：表示回数と視聴率の割り合い
一般的なYoutube広告のアベレージが25-30%程度

【結果報告】

表示回数**29.2万**／クリック数**8**／視聴回数**8.37万**。
視聴率は**28.61%**となりました。



■HPVワクチン キャッチアップ接種啓発SNS広告 結果報告

(2024年9月16日 (月) 23:59時点)

広告出稿期間：2024/7/16～2024/9/16 広告出稿媒体：①Youtube広告 ②Instagram広告

②Instagram広告

■サマリーレポート

クリック数※1	インプレッション※2	クリック率※3
5,023	554,555	0.91%

※1 広告画像のリンクをクリックした回数です。※1 広告画像のリンクをクリックした回数です。
※2 広告が閲覧された回数です。
※3 (クリック数÷インプレッション) × 100 での計算式となります。

■配置別での結果

配置	クリック数	インプレッション	クリック率
フィード	57	3,772	1.51%
ストーリーズ	4,845	532,728	0.91%
リール	85	10,107	0.84%
発見タブ ※7	36	7,948	0.45%
合計	5,023	554,555	

※7「発見タブ」はInstagramアプリを開いて画面下部にある、虫メガネのアイコンをタップすることで表示される画面です。

【結果報告】

リンククリック5,023／インプレッション554,555。クリック率は約**0.91%**となりました。
クリック数全体の約9割はセグメントした愛知県在住の18-27歳に該当する女性でありました。但し本件の内容がセグメントした年齢・性別以外の層（＝対象年齢以外の女性、男性）への周知も一定の効果があるとAIが判別し、対象以外への配信がされたと考えます。特に35-44歳より45-54歳の女性の方がクリック数が多かった理由は、セグメントした対象者の母親にあたる年齢層のため反響が良かったのではと推測いたします。ストーリーズがクリック数全体の90%以上を占めています。これは昨今のInstagramにおける投稿がフィードよりストーリーズの方が多いため、広告も比例してストーリーズの方にウェイトを置いたとの見方ができます。

■年齢・性別での結果

年齢	性別	クリック数	インプレッション	クリック率
18-24	女性	2,768	336,301	0.82%
	男性	200	25,293	0.79%
	不明	2	399	0.50%
25-34	女性	1,718	163,187	1.05%
	男性	111	10,845	1.02%
	不明	1	114	0.88%
35-44	女性	44	4,731	0.93%
	男性	14	1,083	1.29%
	不明	0	11	－
45-54	女性	118	7,795	1.51%
	男性	12	1,129	1.06%
	不明	0	7	－
55-64	女性	21	2,517	0.83%
	男性	14	1,126	1.24%
	不明	0	17	－
合計		5,023	554,555	0.91%

■HPVワクチン キッチアップ接種啓発イベント（にっぽんど真ん中祭り）

実施日時・会場

2024/8/24（土）主催 愛知県小児科医会

- 12:25～ 久屋メインステージ（久屋大通公園久屋広場）
- 13:30～ サカエヒロバス会場（中日ビルと三越に面する）
- 14:24～ グルメパーク会場（久屋大通公園エンゼル広場）
- 14:40～ 久屋メインステージ（久屋大通公園久屋広場）

2024/8/25（日）主催 公益社団法人 愛知県医師会

- 12:10～ 久屋メインステージ（久屋大通公園久屋広場）
- 13:12～ グルメパーク会場（久屋大通公園エンゼル広場）
- 14:06～ オアシス21会場



2024/8/25（日）公益社団法人 愛知県医師会 担当MC
プロフィール
谷木 亜衣
株式会社セントラルジャパン所属

コミュニティFM京都のボランティア情報番組では企画からパーソナリティまで担当し、立命館大学学部長表彰を受賞した。卒業と同時に三重テレビ放送に入社。記者や番組制作に携わり、取材・映像撮影・編集・レポートなど経験を積み、その後はCBCラジオのレポートドライバーとして2年間、東海地方各地から生中継でレポートを担当した。



◀8/24 (土) 愛知県小児科医会

接種啓発動画の放映から、
小児科医とガンサバイバー
の対談、小児科医による漫
才などによる啓発活動を実
施。



▶8/25 (日) 愛知県医師会

田那村理事とキャン
ペンドクター新美先
生による啓発活動を実
施。進行MCはプロに依
頼。
途中CBCテレビより新
美先生に取材の依頼が
あり対応。

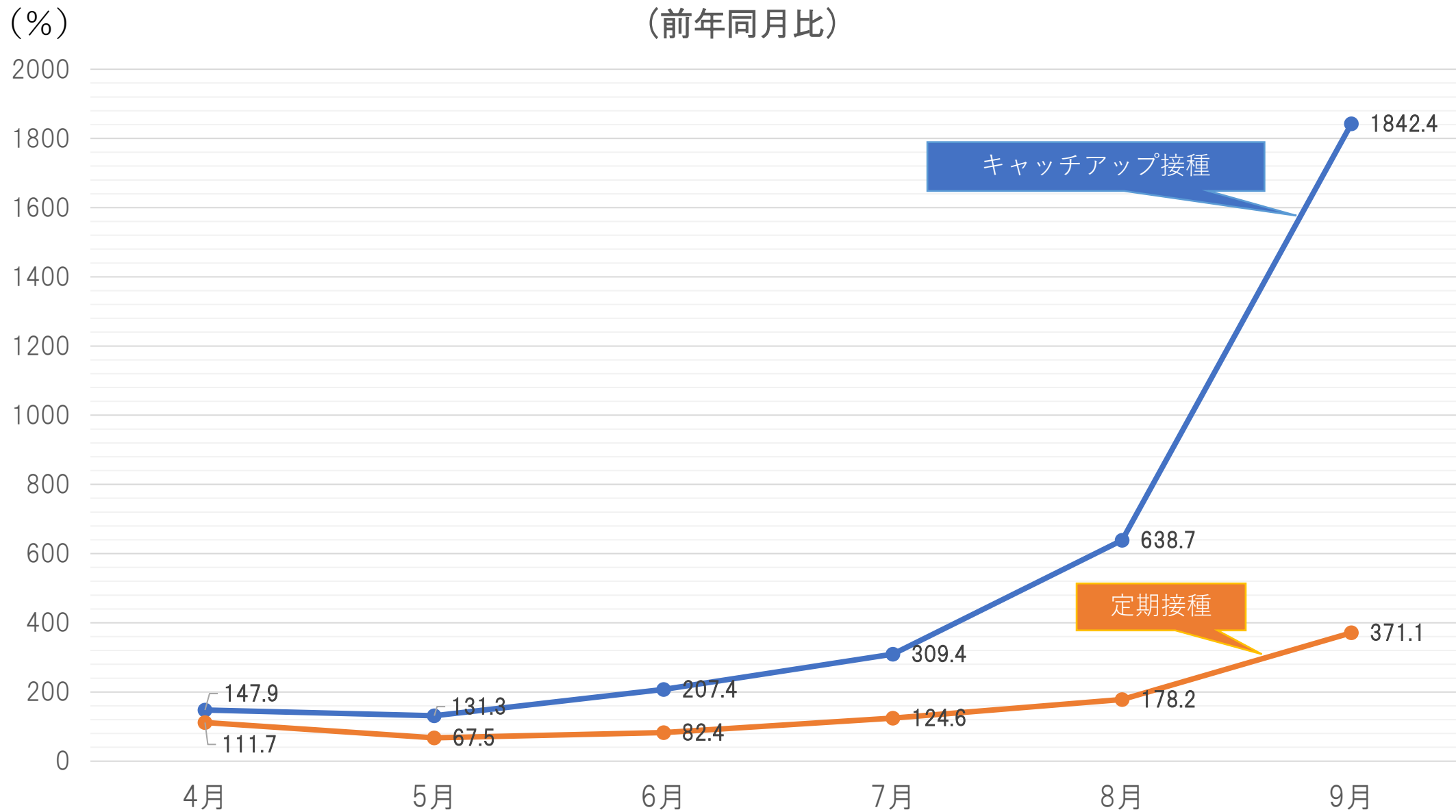


メディアでの取り上げ状況

内容	メディア
5/23 報道関係者との懇談会	5/24中日新聞 5/25読売・朝日新聞
6/2 愛知県産婦人科医会HPVワクチン接種推進に向けた座談会	7/2中日新聞 7/31東海テレビ
6/6 名古屋大学医学部附属病院開催セミナー（新美薫先生）	6/7NHK
キャンペンドクター新美薫先生への取材	6/13NHK 6/15中日新聞 6/21毎日新聞、8/12テレビ愛知、8/26NHK
6/21 学校関係者向け子宮頸がん予防とHPVワクチンに関する研修会（新美薫先生）	6/21NHK 6/30中日新聞
愛知県小児科医会街頭PR活動	6/28NHK、9/10東愛知新聞、9/13中日新聞
6/30 愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム	7/1中日新聞
8/28 名古屋市立大学病院 学生や職員向けのキャッチアップ接種	8/29NHK 8/30中日新聞 9/6CBCテレビ
HPVワクチンのキャッチアップ接種呼びかけ	8/9共同通信社（共同通信が地方紙向けに配信） （▽掲載状況：8/9メディファクス、8/10伊勢新聞・秋田魁新報、8/11千葉日報、8/15山口新聞、8/20京都新聞、8/23中部経済新聞）
8/12 愛知医大 モリコロパークでの無料相談会	8/9.13中日新聞、8/11朝日新聞、8/12テレビ愛知
8/28 名古屋市立大学病院 学生や職員向けにキャッチアップ接種	8/29NHK 8/30中日新聞 9/6CBCテレビ
8/24.25 第26回にっぽんど真ん中祭り	9/6CBCテレビ
9/6 藤田医大 特別講演会	9/11中日新聞

HPVワクチン接種者数（第1回目）の状況

（前年同月比）



（愛知県保健医療局感染症対策課調べ）

健康教育

公益社団法人愛知県医師会

健康教育事業について

- 疾病の発症予防及び重症化予防等の健康づくりに関する知識普及のための講座を開催するとともに、県内の健康情報を一元管理する「健康情報ポータルサイト あいち健康ナビ」を管理・運営することにより、県民に疾病に対する正しい理解や主体的な健康づくり活動を促す環境の整備を図る。

- **健康教育講座**

【目的】

県民が自発的な健康づくりに取り組めるよう、専門的な立場から、健康づくりに関する知識普及のための講座を開催する。

- **健康情報ポータルサイト あいち健康ナビ**

【目的】

県民の主体的な健康づくり活動を促すため、県民の誰もが、いつでも、どこでも、正しい健康情報が得られる環境整備を推進する。

令和6年度健康教育講座

開催日	テ　　マ	講　師	参加者数
5月16日	肩こり　その原因と治療方法	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 副部長・整形外科部長　稲田　充	97
5月24日	小児の泌尿器の病気 ～精巣と陰茎の心配に答えます～	名古屋市立大学医学研究科 小児泌尿器科学分野　教授　林　祐太郎	14
6月12日	その顔シミ、このアザ、レーザー治療で治します！ ～日本に皮膚レーザーが導入されて30年の進歩～	西堀形成外科　院長　西堀　公治	78
7月3日	知ってほしい骨盤臓器脱の診断と治療	名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター産婦人科 教授　中山　健太郎	76
8月27日	排尿の悩み、解決します	藤田医科大学　腎泌尿器外科 教授　佐々木　ひと美	81
9月18日	認知症の基礎知識とアルツハイマー病の新しい薬について	藤田医科大学　認知症高齢診療科 講師　奥村　武則	93
10月8日	発達障害ってなに？ ～すべての子どもが過ごしやすい社会を目指して～	名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座　講師　大橋　圭	92
11月21日	伝わっていますか？届いていますか？緩和ケア	公立陶生病院　緩和ケア内科 主任部長　澤田　憲朗	74
12月20日	心筋梗塞にならないために	名古屋大学医学部附属病院　循環器内科 教授　室原　豊明	95
1月17日	ぶどう膜炎の診断と治療	愛知医科大学病院　眼科　助教　柴田　藍	67
2月17日	ふるえやちょこちょこ歩き：年のせいだと思ってませんか？	愛知医科大学病院 パーキンソン病総合治療センター 教授　斎木　英資	88
3月12日	もっと知ろう！あなたと家族の今の「聞こえ」	藤田医科大学ばんだね病院　耳鼻咽喉科 教授　岡野　高之	82

愛知県医師会 健康教育講座

受講無料

受講には事前のお申し込みが必要です

受講をご希望される方は、下記QRコードの受講申し込みフォームから必要事項をご記入頂き、各講座の申込期限までにお申し込みください。**(講座ごとにお申し込みが必要です)**
お申し込み頂いた個人情報(氏名・住所等)は、本講座の受講票等発送業務に限定して利用させていただきます。
なお、申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。受講可否のご案内は講座開催日の7日前までにお送りさせていただきます。
また、当日受講票をお持ちでない方につきましては、受講をお断りいたしますので、ご了承の上、お申し込みください。

1 肩こり その原因と治療方法

令和6年 5月16日(木)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 稲田 充
受講料 100円
申込期限 令和6年4月26日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

2 小児の泌尿器の病気 ~精巣と陰茎の心配に答えます~

令和6年 5月24日(金)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 林 祐太郎
受講料 100円
申込期限 令和6年5月2日(木)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

3 その顔シミ、このアザ、レーザー治療で治します!

令和6年 6月12日(水)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 西郷 公治
受講料 100円
申込期限 令和6年5月24日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

4 知ってほしい 骨盤臓器脱の診断と治療

令和6年 7月3日(水)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 中山 健太郎
受講料 100円
申込期限 令和6年6月14日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

会場は 栄ガスビル です

会場ご案内図



講座の内容は後日動画でも配信いたします。

<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

あい健康ナビ内の「ビデオ講座」より動画を配信いたします。
健康教育講座を約15分の動画で配信いたします。
好きな場所、好きな時間に視聴いただけます。

健康情報ポータルサイト
あい健康ナビ
<https://ssl.aichikenkonavi.com/>

健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。
いつでもどこでも視聴いただけます。
健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。

会員募集
健康友の会
健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。
いつでもどこでも視聴いただけます。
健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。

主催 公益社団法人 愛知県医師会 〒455-0031 名古屋市中区千鳥1-13-22 医療情報部第2課 TEL.052-241-4139 FAX.052-241-4130

この健康情報ポータルサイトは、愛知県の委託により愛知県医師会が運営しているウェブサイトです。

愛知県医師会 健康教育講座

受講無料

受講には事前のお申し込みが必要です

受講をご希望される方は、下記QRコードの受講申し込みフォームから必要事項をご記入頂き、各講座の申込期限までにお申し込みください。**(講座ごとにお申し込みが必要です)**
お申し込み頂いた個人情報(氏名・住所等)は、本講座の受講票等発送業務に限定して利用させていただきます。
なお、申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。受講可否のご案内は講座開催日の7日前までにお送りさせていただきます。
また、当日受講票をお持ちでない方につきましては、受講をお断りいたしますので、ご了承の上、お申し込みください。

1 排尿の悩み、解決します

令和6年 8月27日(火)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 佐々木 ひと美
受講料 100円
申込期限 令和6年8月9日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

2 認知症の基礎知識とアルツハイマー病の新しい薬について

令和6年 9月18日(水)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 奥村 武則
受講料 100円
申込期限 令和6年8月30日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

3 発達障害ってなに? ~すべての子どもが過ごしやすい社会を目指して~

令和6年 10月8日(火)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 大橋 圭
受講料 100円
申込期限 令和6年9月20日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

4 伝えていますか? 居ていませんか? 緩和ケア

令和6年 11月21日(木)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 澤田 康樹
受講料 100円
申込期限 令和6年11月1日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

会場は 栄ガスビル です

会場ご案内図



講座の内容は後日動画でも配信いたします。

<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

あい健康ナビ内の「ビデオ講座」より動画を配信いたします。
健康教育講座を約15分の動画で配信いたします。
好きな場所、好きな時間に視聴いただけます。

健康情報ポータルサイト
あい健康ナビ
<https://ssl.aichikenkonavi.com/>

健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。
いつでもどこでも視聴いただけます。
健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。

会員募集
健康友の会
健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。
いつでもどこでも視聴いただけます。
健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。

主催 公益社団法人 愛知県医師会 〒455-0031 名古屋市中区千鳥1-13-22 医療情報部第2課 TEL.052-241-4139 FAX.052-241-4130

この健康情報ポータルサイトは、愛知県の委託により愛知県医師会が運営しているウェブサイトです。

愛知県医師会 健康教育講座

受講無料

受講には事前のお申し込みが必要です

受講をご希望される方は、下記QRコードの受講申し込みフォームから必要事項をご記入頂き、各講座の申込期限までにお申し込みください。**(講座ごとにお申し込みが必要です)**
お申し込み頂いた個人情報(氏名・住所等)は、本講座の受講票等発送業務に限定して利用させていただきます。
なお、申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。受講可否のご案内は講座開催日の7日前までにお送りさせていただきます。
また、当日受講票をお持ちでない方につきましては、受講をお断りいたしますので、ご了承の上、お申し込みください。

1 心筋梗塞にならないために

令和6年 12月20日(金)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 家原 豊明
受講料 100円
申込期限 令和6年11月29日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

2 ぶどう膜炎の診断と治療

令和7年 1月17日(金)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 柴田 寛
受講料 100円
申込期限 令和7年12月20日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

3 ふるえやちよこちよこ歩き 年のせいだと思いませんか?

令和7年 2月17日(月)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 斎木 英貴
受講料 100円
申込期限 令和7年1月31日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

4 もっと知ろう! 「聞こえ」 あなたと家族の今の「聞こえ」

令和7年 3月12日(水)
名古屋市中区栄3丁目15-33 栄ガスビル5階
講師 岡野 高之
受講料 100円
申込期限 令和7年2月21日(金)必着
<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

会場は 栄ガスビル です

会場ご案内図



講座の内容は後日動画でも配信いたします。

<https://ssl.aichikenkonavi.com/video/index.php>

あい健康ナビ内の「ビデオ講座」より動画を配信いたします。
健康教育講座を約15分の動画で配信いたします。
好きな場所、好きな時間に視聴いただけます。

健康情報ポータルサイト
あい健康ナビ
<https://ssl.aichikenkonavi.com/>

健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。
いつでもどこでも視聴いただけます。
健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。

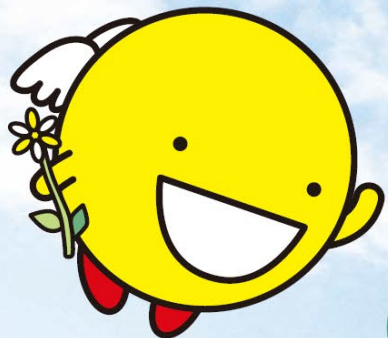
会員募集
健康友の会
健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。
いつでもどこでも視聴いただけます。
健康情報ポータルサイトに掲載されている動画は、本講座の受講者専用ページから視聴いただけます。

主催 公益社団法人 愛知県医師会 〒455-0031 名古屋市中区千鳥1-13-22 医療情報部第2課 TEL.052-241-4139 FAX.052-241-4130

この健康情報ポータルサイトは、愛知県の委託により愛知県医師会が運営しているウェブサイトです。

健康教育講座 参加者の感想やリクエストなど

- 医師から直接のお話を伺え励みになります。
 - 難しそうな話を大変わかりやすい解説でまた詳しく聞かせて頂きました、ありがとうございました。
 - 健康教育講座でいつも参考になり感謝してます。
 - 薬と副作用（特に腎機能に対する）が知りたいです。
 - 陽子線治療について知りたいです。
 - 腰痛について対処法が知りたいです。
 - 眼科緑内障白内障について知りたいです。
 - いびき治療について詳しくお聞きしたいです。例えばマウスピースとか
-



県民の健康づくりを応援する
イメージキャラクター「エアフィー」

健康情報ポータルサイト

あいち健康ナビ

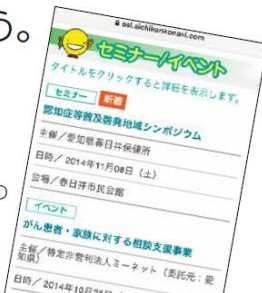
パソコンで、スマートフォンで、いつでも最新の健康情報が手に入る！
便利なWEBサービスが誕生しました。

健康情報



健康に関するセミナーやイベントなどのお知らせを配信します。気になる情報にどんどんアクセスしましょう。

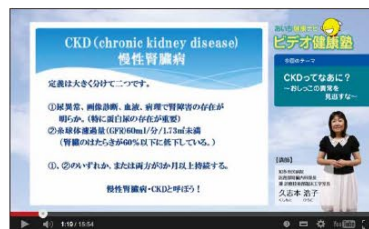
スマートフォン画面の
イメージです。



ビデオ健康塾



講師による健康講座を15分の動画で配信します。好きな場所、好きな時間に見られるからとっても便利です。



健康コラム



健康に関するコラムだけでなく、健康イベントの取材記事も配信します。あなたの健康ライフに活かしてください。



あいち健康ナビ



検索

ウェブ

画像

動画

知恵袋

地図

リアルタイム

ニュース

一覧

ツール

約627,000件 1ページ目

Q [愛知健康ナビ](#) で検索

<https://ssl.aichikenkonavi.com> ▼

[健康情報ポータルサイト あいち健康ナビ](#)

健康情報ポータルサイト あいち健康ナビのホームページです.

[ビデオ健康塾 一覧](#)

[セミナー／イベント 一覧](#)

[健康コラム 一覧](#)

[ビデオ健康塾](#)

検索サイトで「**あいち健康ナビ**」と検索して
ページにアクセス



健康情報ポータルサイト

あいち健康ナビ

POWERED BY YAHOO!



文字サイズ

大

中

小



新着記事
メールでお知らせ

詳しくはこちら

あいち健康ナビトップページ

HOME

ビデオ健康塾

セミナー/イベント

健康コラム

お知らせ

あいち健康マイレージ

HOME >

ご利用案内 | サイト運営について | サイトマップ

健康教育資料一覧

いいね!

シェアする



ビデオ健康塾

▶ ご利用案内

▶ ビデオ健康塾 一覧

ビデオ健康塾とは

愛知県医師会が主催している「健康教育講座（毎月1回実施）」の講座内容短縮版動画です。動画の閲覧および利用については、「ご利用案内」をご一読ください。「健康教育講座」については「セミナー/イベント」よりご確認ください。



皮膚科

爪の悩みを解決しよう！身
近な爪変形の原因と対策



外科

泌尿器科

前立腺がんに対する治療法



整形外科

コロナ禍での骨粗鬆症治療



外科

耳鼻咽喉科

命と機能を守る耳鼻咽喉
科・頭頸部外科

掲載日：2022/5/30

[▶ 新着順](#)[▶ 診療科目で選ぶ](#)[▶ テーマで選ぶ](#)

新着順

[1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [次へ](#)**皮膚科**

爪の悩みを解決しよう！身近な爪変形の原因と対策

掲載日：2022/07/29 再生時間：14分17秒

**外科**

前立腺がんに対する治療法

掲載日：2022/06/17 再生時間：11分19秒

泌尿器科**整形外科**

コロナ禍での骨粗鬆症治療

掲載日：2022/05/30 再生時間：10分00秒

**外科**

命と機能を守る耳鼻咽喉科・頭頸部外科

掲載日：2022/03/28 再生時間：11分10秒

耳鼻咽喉科**内科**

眠れないのは怖くない！

一睡眠薬をもらう前に自分でできること一

掲載日：2022/03/16 再生時間：7分14秒

健康教育講座の内容は
後日動画にて
ダイジェスト版を配信



セミナー/イベント 一覧

[▶ ご利用案内](#)[▶ 開催日順](#)[▶ テーマで選ぶ](#)[▶ マップから選ぶ](#)

開催地域で絞り込む

[名古屋市エリア▼](#)[尾張エリアで選▼](#)[海部エリアで選▼](#)[知多エリアで選▼](#)[西三河エリアで▼](#)[東三河エリアで▼](#)

表示された内容を開催地域で絞り込むことができます。プルダウンメニューで地域名を選択してください。

開催日順

[直近の開催日から表示](#)[セミナーのみ表示](#) | [イベントのみ表示](#)[セミナー](#)[アレルギー](#)[治療](#)

健康教育講座【令和4年 8月24日（水）開催】

主催／愛知県医師会
開催日／2022年8月24日（水）
開催時間／14時～15時30分
会場／愛知県医師会館 9階 大講堂

[セミナー](#)[ストレス](#)[健康づくり](#)

健康教育講座【令和4年 9月7日（水）開催】

主催／愛知県医師会
開催日／2022年9月7日（水）
開催時間／14時～15時30分
会場／愛知県医師会館 9階 大講堂

健康教育講座を始めとする県内イベントの開催情報を掲載

[▶ 新着順](#)[▶ 診療科目で選ぶ](#)[▶ テーマで選ぶ](#)

新着順

[1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [次へ](#)[精神科](#)[ストレス](#)[健康づくり](#)

心理学で考える健康と幸福

ポジティブメンタルヘルスという考え方

[泌尿器科](#)[がん](#)[治療](#)

前立腺がんに対する治療法

[眼科](#)[健康づくり](#)

飛蚊症

[産婦人科](#)[妊娠・出産](#)[薬](#)

妊娠と漢方薬

[皮膚科](#)[薬](#)[治療](#)

ようやくできる、アトピー性皮膚炎 本気の治療！

健康に関するコラム
及び県内イベントの
取材記事等を掲載

HPVワクチンのキャッチアップ接種にかかる キャンペーンを終えて



公益社団法人愛知県医師会
会長 柵木 充明

《接種の意義と接種率向上》

令和6年4月から半年間行ってまいりました、愛知県医師会による「HPVワクチンのキャッチアップ接種にかかるキャンペーン」は、予定通り9月を以て終了いたしました。

このキャンペーンを実施するにあたって、行動目標を立てました。それは、キャッチアップ世代のみならず多くの被接種世代や親世代にHPVワクチン接

種の意義を知ってもらい、今後の接種率向上に繋げることです。

しかし、定期接種世代を加えると対象が12歳から26歳までの女性になり、本人に直接訴えかけることは当然ですが、親世代にもアプローチしなければならず、それぞれに伝える方法を考えなければなりません。いろいろ検討しましたが、これという具体的な方法は思いつかず、一般県民に向けたPRをするしかないとする結論に落ち着きました。

《医療機関・マスメディアへの協力要請》

まず初めに協力いただくべきところは、医療機関です。待合室などにポスターやステッカーを貼ってもらうこと、またリーフレット等を置いて啓発活動をしていただきました。

子供や孫への接種を勧めてもらうために、両親や祖父母への説明も大切です。また、副反応の対応や

HPVワクチンのキャッチアップ接種にかかるキャンペーン スケジュール

担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月
愛知県医師会	HPVワクチン接種の推進に関する検討会（原則、毎月1回開催） ※4/19、6/7、7/5、8/9、9/5、10/4					
		18日 愛知県医師会代議員会にて子宮頸がん啓発ピンバッジを配付	中部電力MIRAI TOWER（旧・名古屋テレビ塔）「煌」にビジョン広告 →6/13NHK 6/15中日			
		23日 報道関係者との懇談会 →5/24中日 5/25読売、朝日	8日 愛知県医師会代議員会にて子宮頸がん啓発ピンバッジを配付等	地下鉄 全線 窓ステッカー、名鉄 全線 ドアステッカーの啓発広告	21日 学校関係者向け子宮頸がん予防とHPVワクチンに関する研修会	19日 県下医師会会長等協議会（10月以降の対応 等）
		30日 県下医師会会長等協議会（臨時）	14日 県下各病院へ協力依頼	JR東海線 金山駅 ホームドアシートへポスター掲出		
		31日 県下各医師会へ協力依頼	→6/15中日（再掲） 6/21毎日	Instagram（インスタ）・Youtubeの広告		
			21日 学校関係者向け子宮頸がん予防とHPVワクチンに関する研修会 →6/21NHK 6/30中日	2日 感染症対策課へ県立学校へリーフレットの周知依頼送付		
			30日 報道関係者との懇談会	5日 県下各市区町村へステッカー・リーフレット等送付	25日 第26回につぼんど真ん中祭り	→9/6CBC
				8日 愛知県私立保育園連盟・名古屋民間保育園連盟へリーフレット送付		
				18日 県下医師会会長等協議会（広域予防接種事業の件）		
				23日 日医理事打合せ（全国PRの要請、期間延長の要望）		
愛知県		28日 保健所・市町村の予防接種担当課へ再周知依頼	12日 名古屋テレビ「名古屋テレビ「ドデスカ！」	3日 県立学校等へリーフレット掲示依頼	4日 広報あいち掲載	県公式 LINE、X（旧・Twitter）による情報発信
			16日 ZIP-FM「AICHI SUNDAY TIPS」	→7/1中日		
名古屋医師会			30日 愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム			
		1日 医療機関へ接種勧奨ポスター・チラシ送付		10日 名古屋市河村市長訪問（接種期間延長の要望）	7日 医療機関へキャッチアップ接種に関する動画の案内を送付	9日 医療機関へ標準的なスケジュールで接種できない場合を送付
内科医会				27日 女性の健康セミナー		20日 医療機関へ「女性の健康セミナー」の動画の案内を送付
					24日 子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）接種キャンペーン講演会	
小児科医会			HPVワクチンメッセージTシャツ制作	28日 Tシャツ・ピンバッジを会員へ配布	3日 豊川市三師会会議でHPVワクチン接種の現状報告	7日 一宮市小児科医会による街頭PR活動
		15日 だいたいクリニックにて啓発活動	28日 東三河小児科医会では保健所職員へもTシャツ配布	6.17.18.31日 勉強会の開催、チラシ配り等、集中的な活動		
産婦人科医会		27日 街頭PR活動 →6/28NHK			24日 第26回につぼんど真ん中祭り	→9/6CBC
		2日 HPVワクチン接種推進に向けた座談会 →7/2中日 7/31東海				
大学			6日 名古屋大学医学部附属病院開催セミナー →6/7NHK	愛知医大 三角ポップ制作	12日 愛知医大 モリコロパーク啓発イベント	19/11中日
			17日 名古屋大学医学部附属病院開催セミナー SSH講演会	17日 名古屋大学医学部附属病院開催セミナー SSH講演会	18/9.13中日 8/11朝日 8/12テレビ愛知	6日 藤田医大 特別講演会
					28.30日 名古屋市大 キャッチアップ集団接種1回目	6.11日 名古屋市大 キャッチアップ集団接種1回目
						→8/29NHK 8/30中日 9/6CBC

フォローもしっかりしておかなければなりません。一般のワクチン接種は行っている、HPVワクチンは行っていない医療機関に対してなるべく打ってもらうよう、地区医師会を通じて協力要請をいたしました。接種する医師・医療機関を増やしたうえでPRを開始しましたが、当然のことながら、医師会や分科医会がどれだけ頑張っても、750万人の県民すべてに情報を届けることは叶いません。

何といっても広める力はマスメディアです。そこで、新聞・テレビ等のマスコミ関係者を集めて懇談会を複数回開催し、趣旨を十分に説明したうえで、今回のキャンペーン関連の報道について協力要請をいたしました。愛知県医師会をはじめ関係団体が行うすべての活動はその都度、報道各社へ事前に情報提供いたしました。また、名古屋大学産婦人科の婦人科専門医でもある新美 薫先生には、愛知県医師会のキャンペンドクターに就任いただき、様々なイベントにおいて解説や説明をしてもらいました。

《キャンペーン活動》

キャンペーンを時系列にまとめて一覧表（2頁）にしますと、活動内容が一目でわかります。まずは、医療関係者に対して子宮頸がん啓発のシンボル「ティール&ホワイトリボン」ピンバッジの配付から始まり、中部電力MIRAI TOWER（旧・名古屋テレビ塔）「煌」へのビジョン広告、名古屋市営地下鉄と名鉄全線の車両ヘステッカーによる広告、JR東海道線 金山駅のホームドアシートへのポスター掲出、Instagram・YouTubeへの広告、県立学校や市町村へのリーフレット等の配付、大学の食堂などへ設置する三角ポップの配付、学校関係者向けの研修会、愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム、にっぽん真ん中祭りでのPR活動など、ありとあらゆる手段で啓発活動を展開しました。

愛知県小児科医会では江口会長と浅井理事を中心に、お揃いのキャンペーンTシャツを誂えてもらいました。非常に目立つピンク色のTシャツで、それを着用して街頭でのPR活動や各種会合への出席など、積極的なPRをしていただきました。相当なインパクトがあったと思います。

各メディアによって取り上げ方は様々でした。ワクチン接種の効用を直線的に取り上げてくれる一方、訴訟になったワクチンの副反応との絡みで複合的に見ているメディアもありました。かつて大きく報道された副反応問題が、未だメディアに対しても大きく影を落としていることを改めて知らされました。

《キャンペーン活動を振り返って》

10月4日には第6回目のHPVワクチン接種の推進

に関する検討会を開催して、今回のキャンペーン活動を振り返りました。出席者は名古屋市医師会、愛知県内科医会、愛知県産婦人科医会、愛知県小児科医会、愛知県感染症対策課、4大学の関係者、医薬品卸、主催する愛知県医師会です。

やはり一番の問題は、教育委員会と連携して学生に直接伝えることができなかったことです。「学校、教育委員会への働きかけをしっかりと行い、学校、教育委員会が主体となって啓発してもらえると効果が大きい」との意見が多くありましたので、愛知県医師会として推し進めてまいりたいと考えております。

また、県内の市町村に住民登録している方が県外に居住している場合の接種問題です。予防接種は市町村の事業ですので、仕方ない部分がありますが、もう少し柔軟な運用ができれば、接種者もさらに増えたのではないかと指摘もありました。名古屋市立大学では学生・職員を対象に集団接種を実施してもらいましたが、県内に住民登録がある方だけでなく、県外に住民登録のある方にも接種ができる広域性を担保する仕組みの構築についても指摘がありました。

加えて、キャンペーン最終月の9月にイベントの計画がなかったことです。その影響もあってか、メディアによる情報発信が少なくなっていました。最後の最後まで気を抜かず、やりきる必要があったことは悔やんでも悔やみきれません。

そして、気になるところは今回のキャンペーンの効果です。

《キャンペーン期間中の接種者数》

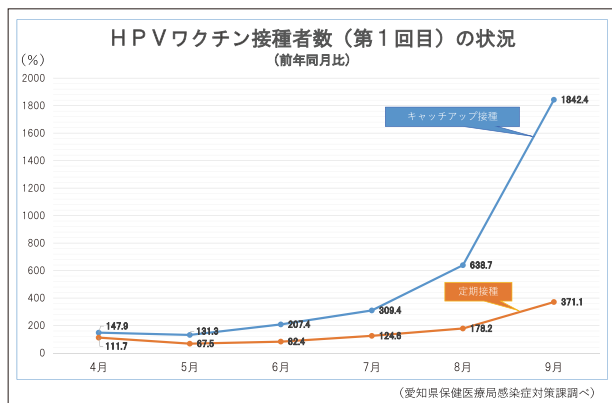
11月21日に愛知県より接種者数（1回目接種）の報告がありました。詳細は下図のとおりではございますが、キャンペーンを始めた4月にはキャッチアップ接種、定期接種ともに約2,000名であった接種が、9月はキャッチアップ接種30,657名、定期接種は4,913名が接種しており、前年同月比で見ても、キャッチアップ接種は18.4倍、定期接種は3.7倍となっております。この数値は速報値であるため、全国平均や他の都道府県の数とはわからないので比較ができませんが、本格的に啓発活動を始めた6月以降、順調に接種者が増えていることがわかり、キャンペーンの効果が現れたものと思います。

○キャッチアップ接種

	計(上半期)	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2024年度	60,538	2,007	3,253	4,889	5,981	13,751	30,657
(参考)							
2023年度	11,941	1,357	2,477	2,357	1,933	2,153	1,664
(前年同月比)	507.0%	147.9%	131.3%	207.4%	309.4%	638.7%	1842.4%

○定期接種

	計(上半期)	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2024年度	18,827	2,009	1,371	1,785	2,867	5,882	4,913
(参考)							
2023年度	12,922	1,798	2,032	2,166	2,301	3,301	1,324
(前年同月比)	145.7%	111.7%	67.5%	82.4%	124.6%	178.2%	371.1%



このキャンペーンを契機に、定期接種の接種率も上がっていくことを期待しているところです。

今回のキャンペーンにご協力いただきました地区医師会、各分科医会、4大学、行政、マスコミはじめ関係者の皆様には深く敬意と感謝の意を申し上げます。

キャンペーンドクターを終えて、いま思うこと

名古屋大学医学部産婦人科 新美 薫



愛知県医師会の皆様には日頃からお世話になっております。名古屋大学附属病院での院内HPVワクチン接種の活動が思うように進まず、それでも産婦人

科医として何かできることはないかと悩んでいる中、柵木会長にお声がけいただき、今回、愛知県医師会のキャンペーンドクターとして活動させていただきました。

この話題について、講演会やイベントで直接訴えたり、インタビューを受けて新聞やTVに取り上げていただくなどで、HPVワクチン接種の啓発活動を行いました。講演会やイベントの参加者からは質問や感想も多くいただき、この活動の意義を感じました。特に学校関係者(養護教員等)への講演には多くの先生方にお集まりいただき、先生方が各学校で生徒や保護者に伝えていってくれるだろうと確信しました。しかし一方で、27歳までのキャッチアップ接種が進んでいるかは今の時点では、はっきりしません。その年代の対象者と直接話す機会がもっと必要だったように思います。大学の食堂に三角ポップを置いてみたりもしましたが、すべての対象者に無料でキャッチアップ接種を受けられるのは今だけ！ということが伝わったとは思えず、心残りです。

自治体職員に、私からも働きかければ良かったです。地元を愛する自治体職員が自分の街の子宮頸癌患者が減ったら、うれしいでしょう。自分の行動で子宮頸癌が減らせるかもしれないことを理解して、対象者に手紙を送ることなどを何度も何度もやってもらいたかったです。また、遠方に住んでいる対象者がそこでワクチン接種をしたときに、愛知県内に住民票があっても、料金を補助ができるシステムを導入することが、キャッチアップ接種世代には有用です。やれている市があるということなので、その仕組みを導入するようにもう少し催促すればよかったのかもしれません。市ごとのデータを出していくこと、つまり2024年4月時点での接種数(率?)のデータがあるので、それを見て自分の市は頑張らなくてはいけない、その成果が11月にはでてくることを知らせて、焦らせるというのも手だったかもしれません。本当にやれるかはわかりませんが、今はいろいろ浮かんできます。

しかし、愛知県医師会の活動としては、名古屋市、内科、産婦人科、小児科医会等を巻き込んで非常に大きくキャンペーンを行えたことは大きな成果を残したと思います。キャッチアップ接種は今年3月まで無料でできます。1回でも多く無料で受けられるようにまだまだ日頃から活動していきたいと思っています。

HPVワクチンのキャッチアップ接種にかかる キャンペーン～愛知県小児科医会の活動～

愛知県小児科医会会長 江口秀史
愛知県小児科医会理事 浅井隼人

HPVワクチンキャッチアップ接種の接種率向上のためのキャンペーンとして、愛知県小児科医会からは駅のホームドアにポスターを掲示する案と、キャンペーンTシャツを作ってチラシを配るという2案を提出したところ、県医師会から特別なご配慮をいただき両案ともに実施できることとなった。

まずポスター掲示については、名古屋駅に次ぐ県内第2のターミナル駅である金山駅のホームドアに、一宮市医師会作成の七夕のポスターを掲示することとなった。厚労省をはじめとする様々な組織や自治体が、それぞれにHPVワクチンのポスターを作っているが、笹に短冊を飾る美しい少女のこのポスターの出来映えは秀逸で、他とは比較にならない。掲示期間は7月1日からの1か月間であったが、多くの乗降客の目に留まり人々の関心を集めたに違いない（写真1）。



写真1 金山駅ホームドアに掲示されたポスター

ショッキングピンクのTシャツとサンドウィッチマンは6月27日にデビューした。地下鉄栄駅5番出口付近で総勢11名で接種勧奨のチラシを配ったが（写真2）、その様子は翌日のNHKニュースで朝から夕方まで、1分40秒というニュースとしては異例の長さで繰り返し放送された。元々、このTシャツは啓発ツールとして日常診療の場でも着用してもらうことを前提として250着を作成したが、いささか目立ち過ぎのため多量の不良在庫が出るのではと一時懸念したこともあった。ところがいざ蓋を開けてみると、会員の意気込みは期待以上に高まっていて瞬く間に払底し、4・9のつく日（しきゅうの日）に一斉着用するなど継続して活用している（写真3）。



写真2 6月27日栄駅付近で



写真3 Tシャツを着用しての診療風景

6月30日の「愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム」には県内各地から20名の会員やその家族、さらに医療スタッフが集まり、開場30分前からエントランスホールでチラシ配りを行い、開場後は客席の中央に陣取り聴講した（写真4）。その後も、豊田加茂小児科医会では豊田地域医療センターで休日診療に訪れる患者さんに、一宮では一宮市医師会の先生方や看護師さんなどにも参加していただき駅前ビル（i-ビル）でチラシを配った。岡崎市では、8月18日にHPVワクチンの市民公開講座が催されたが、講演後に岡崎小児科医会から6名、岡崎市医師会から2名の医師がTシャツを着て、副反応に関する質問、接種への不安、小児科クリニックで接種できるか、などの多くの質問に個別に対応した。東三河小児科医会では、夏休みに接種者が増えることを期待して6月末に小学5、6年生の男女と中学校高等学校の全校生徒（男女とも）に豊川市からの案内状を配布し、8月6日には豊川市議会議員を対象に勉強会を開催した。



写真4 6月30日シンポ会場での集合写真

さらに「8月24日のにっぽんど真ん中祭りでもパフォーマンスを」と突然の依頼を受け、準備期間わずか1か月ほどの急拵えであったが、炎天下小児科医2人による啓発漫才(写真5)、小児科医とがんサバイバーによる対談(写真6)、誠愛リハビリテーション病院の長尾哲彦先生の動画放映を準備し、小児科医7人がステージに立ち熱演した。聴衆からは万雷の拍手とはいかなかったが、抗議活動もなく穏やかに聞き入っていただいた。「5年前ならこうはいかなかっただろう」と、多少でもHPVワクチンへの理解が進み啓発活動を行う土壌が出来てきたと実感した。



写真5 啓発漫才(にっぽんど真ん中祭り)



写真6 がんサバイバーによる対談(にっぽんど真ん中祭り)

愛知県小児科医会の会員ばかりでなく、各地の保健センターの方々や医師会の方々、クリニックのスタッフやその家族まで巻き込んで本当に多くの人たちに、とんでもない暑さの中を、それぞれに様々な形で頑張ってご協力をいただいた。新聞やテレビにも度々取り上げてもらい当初の目的は達したと思うけれど、どれだけの人にどれほど思いが届いたのか、はなはだ心もとない。一方、日常の診療の中で、例えば2種混合ワクチンを受けに来た小学6年生や中学1年生の子に「子宮頸がんワクチンの接種券、きた?」と水を向ければ、付き添ってきた母親が「どうしようか迷っています」などと応え、自然に話は広がる。よちよち歩き頃から、風邪をひくたびに、お腹をこわすたびに通ってきてくれた子であり、10年来のかかりつけ医である。愛知県医師会としての活動は9月末をもって一段落したが、これからは日常診療の中で、機会あるごとに継続的な働きかけを行っていきたいと思う。

HPVワクチンのキャッチアップ接種にかかるキャンペーン概要

公益社団法人愛知県医師会 理事 田那村 收
地区医師会・分科医会などからの要請により、愛知県医師会が主導してHPVワクチンのキャッチアップ接種及び定期接種の接種率向上を目的にキャンペーンを行った。

キャンペーンを展開するにあたり、名古屋市医師会、愛知県内科医会、愛知県産婦人科医会、愛知県小児科医会、名古屋大学、名古屋市立大学、藤田医科大学、愛知医科大学、愛知県感染症対策課、医薬品卸を構成メンバーに『HPVワクチン接種の推進に関する検討会』を設置した。この検討会は原則、毎月1回、10月までに計6回開催し、その都度、キャンペーンの進捗状況の確認などを行った。

また、おおよそのスケジュールと予算が第3回(定例)理事会〔4月25日〕で承認され、第5回(定例)理事会〔5月16日〕では、キャンペーンドクター設置要領の制定とともに、名古屋大学医学部産婦人科講師の新美 薫先生をキャンペーンドクターに委嘱することが承認された。

キャンペーン実施の大枠が決まったことから、まずは、地区医師会・各分科医会をはじめ会員の協力を促すため、第196回(臨時)代議員会〔5月18日〕、第197回(定例)代議員会〔6月8日〕で、子宮頸がん啓発のシンボル「ティール&ホワイトトリボン」ピンバッジを代議員へ配付した。また、HPVワクチン

のこれまでの経緯・対応、キャンペーン内容等の説明を、臨時で開催した県下医師会長等協議会〔5月30日〕で新美キャンペンドクターと私（田那村理事）より行い、柵木会長からも接種医療機関のさらなる拡充、市町村広報誌の活用や接種勧奨ハガキの送付等、地区医師会から市町村への働きかけを行うよう強い要請がなされた。第197回（定例）代議員会の代議員協議会でも、私（田那村理事）より同様に説明し、代議員に協力要請を行った。7月の県下医師会長等協議会では、広域予防接種事業をはじめとした接種医療機関のさらなる拡充の要請、9月には、標準的な接種方法をとることができない場合の接種方法など、10月以降の接種スケジュール等の周知を行った。



ティール&ホワイトリボン

一方で、第60回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会〔5月22日〕において、令和4年度HPVワクチン都道府県別接種率が示され、愛知県はキャッチアップ接種が5.9%（全国平均6.1%）、定期接種が7.0%（全国平均8.4%）、全体で6.2%（全国平均6.9%）と低調であることが判明した。

県民へ接種を呼び掛けるためには、メディアの協力は必要不可欠と考え、報道関係者との懇談会〔5月23日〕を開催して、ここでも新美キャンペンドクターおよび私（田那村理事）より説明して、機運を盛り上げてもらうよう協力要請を行った。

6月からの本格的なキャンペーンの展開に合わせて、愛知県医師会ホームページのトップに、啓発資料やイベント案内などの情報を集約したHPVワクチン接種促進特設ページを開設した。啓発資料は、日本臨床内科医会、一宮市医師会から提供のポスター・チラシ、また、富山県のシンボルマーク「メーデー、メーデー。こちら子宮ちゃん」を富山県医師会から提供いただき、それを基にステッカー・リーフレットを作成して掲載した。その他、メッセージ動画を作成して掲載するなど、内容の随時更新を行った。

2024年度版

お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃんへ
娘さん、お孫さんは何歳ですか？

HPVワクチンは、子宮頸がんを予防するワクチンです

対象者

12歳～27歳の女性

小学校6年生

定期接種：小学校6年生～高校1年生相当の女性
キャッチアップ接種：16～27歳の女性（1997年4月2日～2008年4月1日生まれ）

対象年齢であれば、
約10万円の接種費用を
公費で接種することができます

キャッチアップ接種は2024年9月末日までに1回目の接種を！

当院でHPVワクチンの接種が可能です。
お気軽に御相談下さい

小学校6年生になったらHPVワクチン

2024年度版

お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん
娘さん、お孫さんは何歳ですか？

小学校6年生になったらHPVワクチン

HPVワクチンは、
子宮頸がんを予防するワクチンです

定期接種ワクチン

公費助成あり＝無料（約10万円）
（対象者の方のみ）

定期接種

小学校6年生～高校1年生相当の女性

キャッチアップ接種

16～27歳の女性
（1997年4月2日～2008年4月1日生まれ）

キャッチアップ接種は2024年9月末日までに1回目の接種を！

当院でHPVワクチンの接種が可能です。
お気軽に御相談下さい

小学校6年生になったらHPVワクチン

2024年度版

**知ってますか？
HPV ワクチン
について**

HPVワクチンは子宮頸がん予防のワクチンです。

HPVワクチンは、平成25（2013）年6月から、積極的な勧奨を一時的に差し控えていましたが、令和3（2021）年11月に、専門家の評価により「HPVワクチンの積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」とされ、令和4（2022）年4月から、他の定期接種と同様に、積極的な勧奨を行っています。

今からできること

① 対象年齢の女性（12歳～27歳）は、積極的に接種を勧めます。

② 対象年齢の女性（12歳～27歳）は、積極的に接種を勧めます。

③ 対象年齢の女性（12歳～27歳）は、積極的に接種を勧めます。

④ 対象年齢の女性（12歳～27歳）は、積極的に接種を勧めます。

全てのワクチン接種には、効果とリスクがあります。

まずは、子宮頸がんとはHPVワクチン、子宮けいがん検査について知ってください。

小学校6年生～高校1年生相当の女の子と保護者の方へ

対象年齢なら、約10万円のワクチンが公費で接種できます。

HPVワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は
当院へお気軽にご相談ください。

日本臨床内科医会提供ポスター（3枚）

「子宮頸がん」からあなたを守るHPVワクチン
無料接種期限がせまっています
無料接種期間を過ぎると接種費用は全額自己負担(約10万円)になります

ワクチンの正しい接種を知りたい
 接種期間を過ぎると接種費用は全額自己負担(約10万円)になります
 ワクチンがなくてもいいから接種したい
 ワクチンがなくてもいいから接種したい

公費で無料接種できます

接種機会を逃した方の無料接種
キャッチアップ接種
無料接種は2025年3月まで **1回目は遅くとも2024年9月までに!**
キャッチアップ接種対象者 1997年度～2007年度生まれの女子

子宮頸がんを予防するワクチン
HPVワクチン定期接種
定期無料接種対象者 小学校6年生～高校1年生相当の女子

HPVワクチンとは
 HPVワクチンとは子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。HPVワクチンは予防効果が長く定期接種年代(16～17歳)の接種に際して予防効果の予防効果、キャッチアップ接種年代の接種に際して予防効果の予防効果が報告されています。

公益社団法人 愛知県医師会 愛知県小児科医会
(制作・提供 一般社団法人 愛知県医師会)

一宮市医師会提供ポスター

メーデー、メーデー。こちら子宮ちゃん。

このままだと6,620人*が子宮頸がんで死んじゃう!

SAVE ♥ WOMB

10/1以降は(最大)10万円、マジで自腹になっちゃうよ!

*2022年度から2023年度生まれの16～17歳女子の接種率は約10%です。接種率が低いと、将来的に子宮頸がんの発生率が高くなる可能性があります。接種率を上げることで、将来的に子宮頸がんの発生率を下げることができます。

富山県のシンボルマーク

「メーデー、メーデー。こちら子宮ちゃん」

愛知県医師会のキャンペーンは、中部電力MIRAI TOWER(旧・名古屋テレビ塔)タワービジョン「煌」へのビジョン広告〔6～9月〕、名古屋市営地下鉄と名鉄全線の車両ヘステッカーによる啓発広告〔7～8月〕、JR東海道線 金山駅のホームドアシートへのポスター掲出〔7月〕、InstagramとYouTubeへの広告〔7月16日～9月16日〕、県立学校や市町村へのリーフレット等の配付、愛知医科大学病院と共同で作った食堂などに設置する三角ポップの配付、学校関係者向け研修会の開催〔6月21日、8月21日〕、愛知県と共催した愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム〔6月30日〕、第26回につぼんど真ん中祭りでのPR活動〔8月24日、25日〕等、あらゆる手段を用いて展開した。

につぼんど真ん中祭りは、24日を愛知県小児科医

会にお願いした。準備期間がわずかにもかかわらず、炎天のもと啓発漫才、小児科医とがんサバイバーによる対談など、計4回ステージで熱演いただいた。翌25日は愛知県医師会が行い、プロのMCによる新美キャンペーンドクター・私(田那村理事)への質問形式で計3回行った。

中部電力MIRAI TOWER タワービジョン「煌」への広告

中部電力MIRAI TOWER タワービジョン「煌」への広告

平成9年度、19年度生まれの女性の接種に大切なお知らせです。知っていますか?

子宮頸がんを予防できるワクチンがあることをご存知ですか?
 大切な未来を守るためにワクチンを接種しましょう!
 子宮頸がん予防ワクチンキャッチアップ接種は無料
 初回接種は9月までに
 1回目は遅くとも2024年9月までに!

ビジョン概要
 〇場 所: 名古屋市中区錦3丁目6-15
 〇放映時間: 日没から
 〇放映期間: 令和6年6月～9月



中部電力MIRAI TOWERタワービジョン「煌」への広告

地下鉄・名鉄全線の車両ヘステッカーによる啓発広告

地下鉄・名鉄全線の車両ヘステッカーによる啓発広告
 掲載期間: 令和6年7月～令和6年8月

【地下鉄・窓ステッカー】

【名鉄・扉ステッカー】

1997・2007年度生まれの女性は必ず接種!
 子宮頸がん予防ワクチンの無料接種期限がせまっています。
 接種の期限は遅くとも2024年9月までに!

1997・2007年度生まれの女性は必ず接種!
 子宮頸がん予防ワクチンの無料接種期限がせまっています。
 接種の期限は遅くとも2024年9月までに!

地下鉄・名鉄全線の車両ヘステッカーによる啓発広告



JR東海道線 金山駅のホームドアシートへのポスター掲出



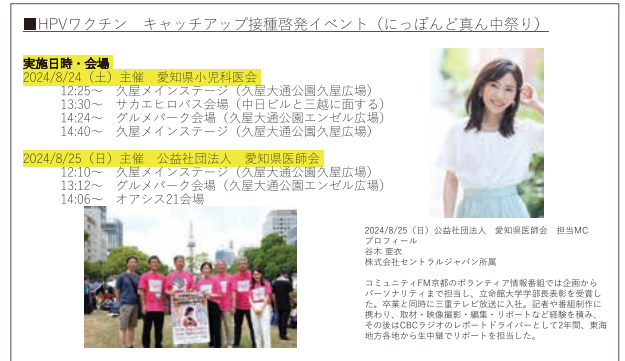
Instagram・YouTubeへの広告



リーフレット



三角ポップ



にっぽんど真ん中祭り

こういった活動は、ただ行うだけでは効果が薄いことから、イベント開催の際には、事前にメディアへ周知して、記事やニュースに取り上げてもらうことに努めた。そうしたことで、対象者だけでなくその家族や関係者の目に触れるため、さらなる相乗効果が生まれることを期待した。その結果、NHKや中日新聞をはじめ各メディアに取り上げてもらえた。

検討会メンバーである名古屋市医師会、内科、産婦人科、小児科の各医会、4大学の関係者には、講演会・座談会・無料相談会の開催、街頭でのPR活動など、さまざまな活動を行っていただいた。これらも同様に、事前にメディアへ周知して、記事やニュースに取り上げてもらっている。

メディアでの取り上げ状況

内 容	メ デ ィ ア
5/23 報道関係者との懇談会	5/24中日新聞 5/25読売・朝日新聞
6/2 愛知県産婦人科医会HPVワクチン接種推進に向けた座談会	7/2中日新聞 7/31東海テレビ
6/6 名古屋大学医学部附属病院開催セミナー（新美薫先生）	6/7NHK
キャンペーンドクター新美薫先生への取材	6/13NHK 6/15中日新聞 6/21毎日新聞、8/12テレビ愛知、8/26NHK
6/21 学校関係者向け子宮頸がん予防とHPVワクチンに関する研修会（新美薫先生）	6/21NHK 6/30中日新聞
愛知県小児科医会街頭PR活動	6/28NHK、9/10東愛知新聞、9/13中日新聞
6/30 愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム	7/1中日新聞
8/28 名古屋市立大学病院 学生や職員向けのキャッチアップ接種	8/29NHK 8/30中日新聞 9/6CBCテレビ
HPVワクチンのキャッチアップ接種呼びかけ	8/9共同通信社（共同通信が地方紙向けに配信） （V掲載状況：8/9メディアファースト、8/10伊勢新聞・秋田魁新報、8/11千葉日報、8/15山口新聞、8/20京都新聞、8/23中部経済新聞）
8/12 愛知医大 モリコロパークでの無料相談会	8/9,13中日新聞、8/11朝日新聞、8/12テレビ愛知
8/28 名古屋市立大学病院 学生や職員向けにキャッチアップ接種	8/29NHK 8/30中日新聞 9/6CBCテレビ
8/24,25 第26回にっぽん真ん中祭り	9/6CBCテレビ
9/6 藤田医大 特別講演会	9/11中日新聞

メディアでの取り上げ状況

なかでも、愛知県小児科医会の江口秀史会長、浅井隼人理事をはじめ関係者の皆様には、ピンク色のオリジナルTシャツを着用して、街頭でのPR活動、前述のとおりにつぼんど真ん中祭りでのステージなど、精力的に活動いただいた。

愛知県の感染症対策課は、広報あいち、県公式LINE・X（旧・Twitter）の公式アカウントによる情報発信、5月には保健所・市町村の予防接種担当課へキャッチアップ接種の再周知をしていただき、その結果、7割近くの市町村で改めて周知が行われた。また、愛知県医師会と共催で愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム〔6月30日〕を開催した。シンポジウム終了後には、愛知県医師会単独で報道関係者との懇談会を再度開催して、HPVワクチンに関する声明を発信している。

医薬品卸では、医療機関への訪問時にキャンペーンのPRや啓発資料の配付など、医療機関を中心に精力的に対応いただいた。さらに、大学の集中講義において、看護師が講師となって、約100名の受講者に接種の呼びかけを行っていただいた。

このような活動を地道に展開することは愛知県に限らず、どこの都道府県も限界がある。そのため、中央から国民に向けての情報発信も有効と考え、日本医師会の理事打合せ〔7月23日〕において、日医の理事である大輪芳裕副会長より愛知県のキャンペーン活動を紹介するとともに、キャッチアップ接種期間の延長やCM放映など、都道府県医師会をはじめとした地域の活動をサポートするよう要請した。その結果、日医作成のテレビCMが8月末から9月上旬にかけ計4回放映されている。

以上、半年間という期間限定のキャンペーン活動であったが、今回のキャンペーンを通じて特に効果があったことは、①婦人科専門医の方にキャンペーンドクターになっていただき、直接情報発信ができたこと、②イベントを開催するだけでなく、事前にメディアにも協力を仰ぎ、記事やニュースに取り上

げてもらったことである。

逆に反省しなければいけないことは、①県教育委員会、学校関係者とともに学生に直接伝えられなかったこと、②県を跨いだ接種体制（広域予防接種）を構築できなかったこと、③キャンペーン最終月と定めた9月にイベントを計画せず、それによりメディアによる情報発信の機会が少なくなってしまったことである。

今回のキャンペーン活動を通じて培った経験を、これからの医師会活動に活かしていきたい。

HPVワクチンのキャッチアップ接種にかかるキャンペーン活動記録

4月19日（県医師会）

第1回HPVワクチン接種の推進に関する検討会を開催。（構成：名古屋市医師会、愛知県内科医会、愛知県産婦人科医会、愛知県小児科医会、4大学、愛知県感染症対策課、医薬品卸、愛知県医師会）

4月25日（県医師会）

第3回（定例）理事会において、HPVワクチンキャッチアップ接種にかかるキャンペーン及び予算を承認。

4月26日（県医師会）

日本臨床内科医会へ、接種勧奨ポスター等の転載依頼、富山県医師会へ、イラスト（シンボルマーク）の使用許可依頼を通知。

5月1日（名古屋市医師会）

医療機関へ子宮頸がんワクチン「接種勧奨ポスター・チラシ」案内を通知。

5月16日（県医師会）

第5回（定例）理事会において、「子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）キャンペーンにかかるキャンペーンドクター 設置要領」の制定並びにキャンペーンドクターの委嘱を承認。

名古屋大学医学部産婦人科講師の新美 薫先生をキャンペーンドクターに委嘱。

5月18日（県医師会）

第196回（臨時）代議員会において、子宮頸がん啓発のシンボル「ティール&ホワイトリボン」ピンバッジを配付。

5月23日（県医師会）

報道関係者との懇談会を開催。新美キャンペーンドクターより子宮頸がんとHPVワクチンのこれまでの経緯・対応、田那村理事より愛知県医師会のキャンペーン内容の紹介などを行い、協力要請。

5月27日（県医師会）

愛知県医師会ホームページに、「HPVワクチン接種

促進特設ページ」を開設。動画や啓発資材、イベントの案内などの情報を集約。(随時更新)

5月28日(愛知県感染症対策課)

各保健所と各市町村の予防接種担当課へHPVワクチンのキャッチアップ接種に係る周知等の再周知を通知。

5月30日(県医師会)

臨時の県下医師会会長等協議会を開催。柵木会長より地区医師会へ協力要請。新美キャンペーンドクターより子宮頸がん、HPVワクチンのこれまでの経緯・対応、HPVワクチンの課題等について、田那村理事より愛知県医師会のキャンペーン内容などを説明。

5月31日(県医師会)

県下各医師会へHPVワクチンのキャッチアップ接種にかかるキャンペーンの協力依頼を通知。

6月1日(県医師会)

中部電力MIRAI TOWER(旧・名古屋テレビ塔)「煌」にビジョン広告を開始。(9月まで実施)

6月2日(産婦人科医会)

HPVワクチン接種推進に向けた座談会を開催。(内容を動画配信)

6月6日(名古屋大学)

HPVワクチン接種に関するセミナーを職員・学生及びその家族を対象に開催。

6月7日(県医師会)

第2回HPVワクチン接種の推進に関する検討会を開催。

6月8日(県医師会)

第197回(定例)代議員会の代議員協議会において、田那村理事よりHPVワクチンのこれまでの経緯・対応、愛知県医師会のキャンペーン内容などを説明。また、「ティール&ホワイトリボン」ピンバッジを配付。

6月10日(県医師会)

県下各医師会等へ、「ティール&ホワイトリボン」ピンバッジを送付。

6月14日(県医師会)

県下各病院へHPVワクチンのキャッチアップ接種にかかるキャンペーン並びに「愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム」の協力依頼を通知。

6月15日(小児科医会)

オリジナルTシャツを制作。それを着用して、だいどうクリニックで啓発活動。

6月21日(県医師会)

学校関係者を対象に研修会を開催。新美キャンペーンドクターを講師に、「知っておきたい子宮頸がんのこと。HPVワクチンのこと。」と題して講演。

6月25日(県医師会)

県下各医師会へHPVワクチン接種勧奨啓発資材である院内掲示用ステッカー・リーフレットを愛知医報7月1日発行号(第2217号)に同封することの案内を通知。

6月27日(小児科医会)

オリジナルTシャツを着用して、中区の栄駅周辺でPR活動。

6月30日(愛知県感染症対策課、県医師会)

愛知県と愛知県医師会の主催による「愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム」を開催。高知大学医学部臨床感染症学講座 教授 山岸 由佳先生の基調講演、俳優・一般社団法人 HIRAKU がんリンパ浮腫と共存 代表理事 古村 比呂さんのメッセージ動画、パネルディスカッションを実施。終了後、愛知県医師会として報道関係者との懇談会を開催して声明を発信。

7月1日(県医師会)

JR東海道線 金山駅のホームドアシートにポスター掲出を開始。(7月のみ)

地下鉄全線の窓と名鉄全線のドアにステッカー掲出を開始。(8月まで)

7月2日(県医師会)

愛知県感染症対策課へ子宮頸がん予防に関するリーフレットの周知依頼を通知。

7月3日(愛知県感染症対策課)

各愛知県立学校へ子宮頸がん予防に関するリーフレットの掲示検討と対象者への周知依頼を通知。

7月5日(県医師会)

第3回HPVワクチン接種の推進に関する検討会を開催。

県下各市区町村へHPVワクチンのキャッチアップ接種に関するリーフレット等を送付。

HPV予防接種拠点病院整備事業の東海ブロック拠点病院である愛知医大の協力のもと、三角ポップを制作。4大学はじめ県下大学へ送付。

7月8日(県医師会)

愛知県私立保育園連盟・名古屋民間保育園連盟へ子宮頸がん予防に関するリーフレットを送付並びに周知依頼を通知。

7月10日(名古屋市医師会)

名古屋市の河村市長を表敬訪問、キャッチアップ接種の期間延長を要望。

7月16日(県医師会)

Instagram、YouTubeによる広告を開始。(9月16日まで)

7月17日（名古屋大学）

HPVワクチン接種に関するセミナーを名古屋大学教育学部附属中学・高校の生徒と保護者を対象に開催。

7月18日（県医師会）

県下医師会長等協議会において、広域予防接種事業の接種医療機関拡大を要請。

7月23日（県医師会）

日本医師会へ全国的なPR活動の要請、キャッチアップ接種の期間延長を要望。

7月27日（名古屋市医師会）

女性の健康セミナーを看護大学生対象に開催。

7月28日（小児科医会）

オリジナルTシャツ、「ティール&ホワイトトリボン」ピンバッジを会員等へ配付。

東三河小児科医会で、保健所職員にもオリジナルTシャツを配布して、保健所での健診時に着用。

8月3日（小児科医会）

豊川市三師会会議でHPVワクチン接種の現状報告。

8月4日（愛知県感染症対策課）

広報あいちへキャッチアップ接種に関する記事を掲載。

8月6日（小児科医会）

豊川市議会議員へHPVワクチン勉強会を開催。

8月7日（名古屋市医師会）

医療機関へキャッチアップ接種に関する動画の案内を通知。

8月9日（県医師会）

第4回HPVワクチン接種の推進に関する検討会を開催。

8月12日（愛知医科大学）

モリコロパーク（愛・地球博記念公園）「三日月休憩所内 特設ブース」で無料相談会を開催。

8月17日（小児科医会）

オリジナルTシャツを着用して、豊田加茂小児科医会と合同で、豊田地域医療センター周辺でPR活動。

8月18日（小児科医会）

岡崎小児科医会で、保健所職員にもオリジナルTシャツを配布。

8月21日（県医師会）

学校関係者を対象に研修会を開催。新美キャンペーンドクターを講師に、「知っておきたい子宮頸がんのこと。HPVワクチンのこと。」と題して講演。

8月24日（内科医会）

HPVワクチン接種キャンペーン講演会を開催。福井県済生会病院産婦人科主任部長の黒川哲司先生を講師に、「HPVワクチンを勧めるポイント」と題し

て講演。

8月24日、25日（小児科医会、県医師会）

第26回につぼんど真ん中祭りにおいて、PR活動を実施。24日は小児科医会が3会場で、接種啓発の動画放映、小児科医とがんサバイバーの対談、小児科医による漫才を実施（計4回）。25日は県医師会が3会場で、プロのMCが新美キャンペーンドクターと田那村理事に問いかける形で実施（計3回）。

8月28日、30日（名古屋市立大学）

名古屋市内に居住する学生・大学院生及び医学部附属病院群の看護師等を対象にキャッチアップ集団接種を実施。（9月上中旬にも複数日実施）

9月（愛知県感染症対策課）

県公式LINE、X（旧・Twitter）による情報発信。

9月5日（県医師会）

第5回HPVワクチン接種の推進に関する検討会を開催。

9月6日（藤田医科大学）

学生・職員を対象に特別講演会を開催。

9月7日（小児科医会）

オリジナルTシャツを着用して、JR尾張一宮駅周辺でPR活動。

9月9日（名古屋市医師会）

医療機関へ標準的なスケジュールで接種できない場合の案内を通知。

9月19日（県医師会）

県下医師会長等協議会でHPVワクチンに関する10月以降の接種スケジュール等の取扱いについて説明。

10月4日（県医師会）

第6回HPVワクチン接種の推進に関する検討会を開催。

10月30日（名古屋市医師会）

名古屋市長宛へ市独自の救済措置の実施について、緊急要望を提出。